

# 「ウォーターカッター車」及び「大型ブロアー車」を導入

参事官

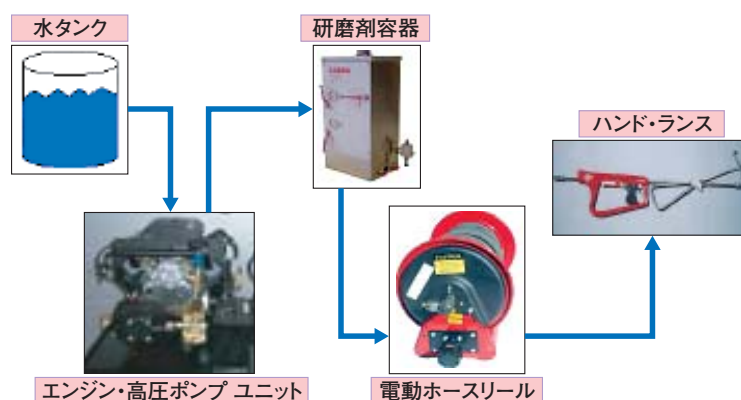
## 1. 背景

平成17年4月のJR西日本福知山線列車事故では、救助現場に車両から漏洩したガソリンが気化充満していたため、エンジンカッター等の火花が発生する救助用器具が使用できず、救助活動に支障を生じたことの教訓から、ウォーターカッター及び大型ブロアーを整備することとしたもの。

## 2. 概要

### ○ウォーターカッター

研磨剤を混入した高圧の水流で、鋼材、コンクリート等のあらゆる対象物を切断できるもので、火花が出ないことから危険物、可燃性ガス等の充満した場所でも使用が可能である。また、少量の水での噴霧消火も可能である。



### ○大型ブロアー

大型のファンを高速回転させることにより、1時間に21万 $m^3$ （東京ドームがほぼ5時間で膨らむ。）もの大量の送風やマイクロ噴霧放水を実施できるもので、有害物質の除去やトンネル・地下街・地下鉄等での火災等における排煙・消火等を行うものである。



## 3. 活用方法

ウォーターカッター車及び大型ブロアー車は、我が国消防の救助活動能力の向上のため、消防大学校の研修で活用します。また、平素は、全国の主要都市5箇所（札幌市、東京消防庁、名古屋市、大阪市、福岡市）に配備し、より実践的な訓練を重ねるとともに、全国的な災害対応能力を強化するものです。

